未来につながる
持続可能なまちづくり
みんなでめざす
住みよいはりま





播磨町
都市計画マスタープラン・立地適正化計画

ダイジェスト版





播磨町

令和８（2026）年3月改定

目指すべき都市の将来像

播磨町の目指す将来像

いいとこいっぱい！ 笑顔いっぱい！
みんなでつくる ふるさと はりま

☆日々の暮らしを快適で便利に過ごすことができるまち
☆いつでも安心して暮らせるまち
☆心安らぐふるさととして、いつまでも愛し、誇りに思えるまち

＊播磨町の目指す将来像（将来のまちの姿）は、「第 5 次播磨町総合計画」で示されている考え方に基づいています。

都市づくりの目標

「播磨町の目指す将来像」を踏まえ、以下の目標を設定します。

未来につながる持続可能なまちづくり みんなでめざす
住みよい はりま

立地適正化計画の考え方を踏まえ、現在、町が直面している課題への対応に加え、将来を見据えた備えとして、次の３つの視点を大切にしながら、人口減少が進む中でも、将来にわたり持続可能な暮らしやすいまちを目指します。

①あらゆる世代が町内に住み続けられる良好な居住環境の維持・充実
②まちの活力や利便性の向上
③都市機能の維持・効果的な立地の誘導

計画の概要

都市計画マスタープラン
町がこれからどのようにまちづくりを進めていくのか、その基本的な考え方や方向性を示す計画です。土地の使い方や、施設の配置、道路などの整備についての考え方をまとめています。

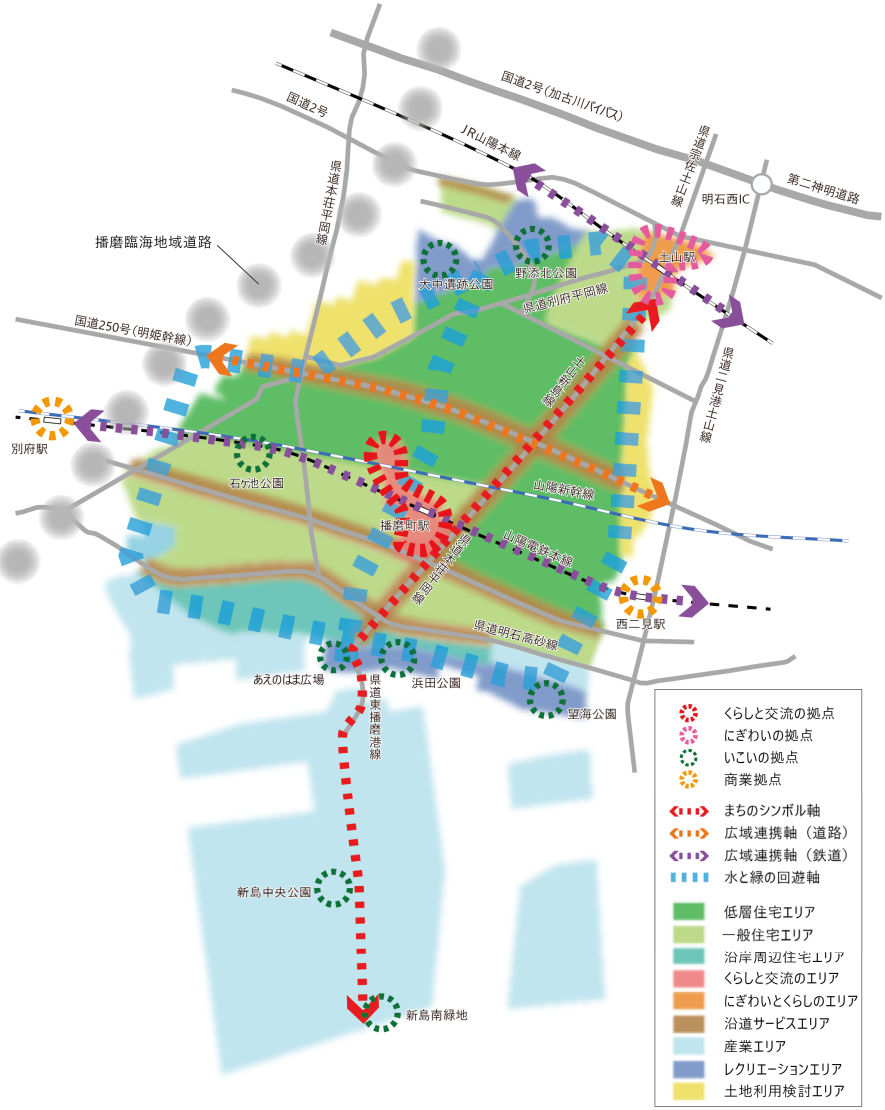
立地適正化計画
人口減少や高齢化社会に対応しながら、住まいや生活に必要な施設をできるだけ集約し、公共交通や防災とも連携した、持続可能なまちの形を目指すための計画です。

＊今回の播磨町都市計画マスタープランは、立地適正化計画も含めた、一体的な計画となっています。

将来都市構造

播磨町では、鉄道駅周辺を中心に、暮らしに必要な機能が集まる拠点をつくるとともに、近隣市の拠点機能を活かし、公共交通や主要な道路で各地域をつなぐ、コンパクトで持続可能な構造とします。

また、北部・南部の拠点を核に、住宅地や産業用地、臨海部それぞれの特性を活かしつつ、防災にも配慮した都市構造の実現を目指します。



都市づくりの方針

播磨町が目指す将来のまちの姿を実現していくため、都市づくりの基本的な方針と、分野ごとの方針を設定します。

都市づくりの基本方針

（1）持続可能な都市づくり

- コンパクトな町域を最大限活用し、快適で持続可能な住環境の形成を進めます。

（2）生活利便性とまちの活力を高める都市づくり

- 拠点機能や新島など産業基盤の充実を図り、生活利便性と活力の向上を図ります。

（3）豊かな自然や歴史・文化資源と調和した魅力的な都市づくり

- 自然や大中遺跡など地域資源を活かした魅力ある都市づくりを進めます。

（4）まち全体の安全性を高める都市づくり

- 防災や生活安全に配慮し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

（5）ストック活用を重視した都市づくり

- 既存の都市基盤や施設を有効活用し、効率的な都市づくりを進めます。

（6）住民・事業者・行政の協働による都市づくり

- 住民・事業者・行政が役割を分担し、協働による都市づくりを進めます。

都市づくりの分野別方針

（1）土地利用に関する方針

①住みたくなる魅力ある市街地の形成
②良好な住環境と生活サービス機能の共存
③市街地にゆとりとうるおいを与える水と緑の空間の充実
④まちの活力を創造する工場等の操業環境の保全


であいのみち


JR土山駅南側

（2）都市交通に関する方針

①環境にやさしく利便性の高い交通施策の推進
②都市交通施設の長寿命化の検討と適切な維持・管理

（3）都市環境および自然環境に関する方針

①播磨町環境基本計画に基づく、地域との協働による豊かな環境づくり
②身近な健康づくりやストレス緩和の場としての公園・緑地等のオープンスペースの充実
③上下水道の適切な維持・管理
④誰もが安心して安全に暮らせるバリアフリーやユニバーサルデザインのまちづくり
⑤脱炭素社会の実現と環境負荷の低減に配慮した都市づくり
⑥川沿いの遊歩道・植栽等の保全や環境整備
⑦海沿いのレクリエーション資源を生かした一体的な環境づくり
⑧環境資源としての農地やため池の活用等による環境との共生

（4）市街地整備に関する方針

①安全、便利で快適な市街地の形成
②空き家対策の推進

（5）都市防災に関する方針

①播磨町地域防災計画、播磨町水防計画に基づく防災対策の強化
②事前復興準備の検討

（6）景観形成に関する方針

①歴史的資源や自然的資源などの個性を生かした播磨町らしい景観づくり
②播磨町を印象づける景観の創出や維持、PR


喜瀬川沿いの遊歩道


きっずなホール
（土山駅南交流スペース）


播磨町総合防災訓練

防災指針

防災指針は、津波・浸水などの災害リスクを踏まえ、暮らしに必要な施設誘導とあわせて、防災・減災の視点でまちづくりを進めるための方針です。

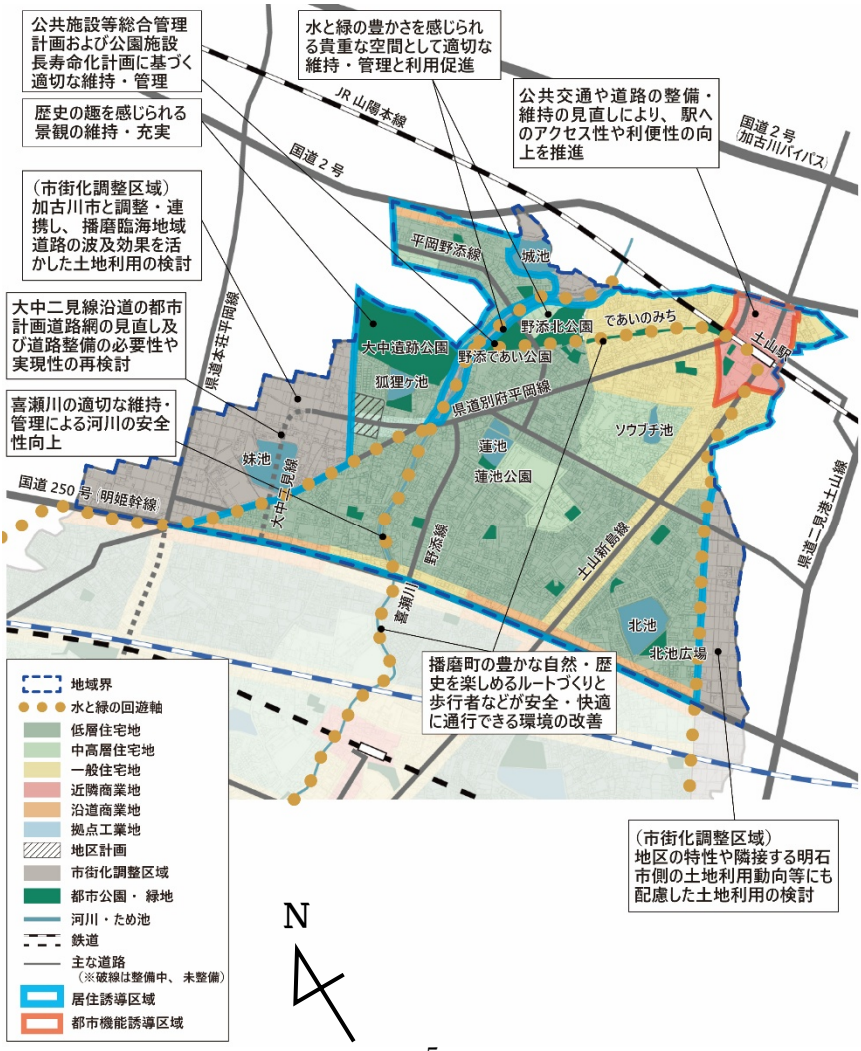
播磨町では、避難場所・避難経路の確保をはじめ、建物の耐震化や日頃からの防災意識を高める取組などを通して、災害による被害をできるだけ抑え、安全・安心に暮らし続けられるまちを目指します。

地域づくりの方針

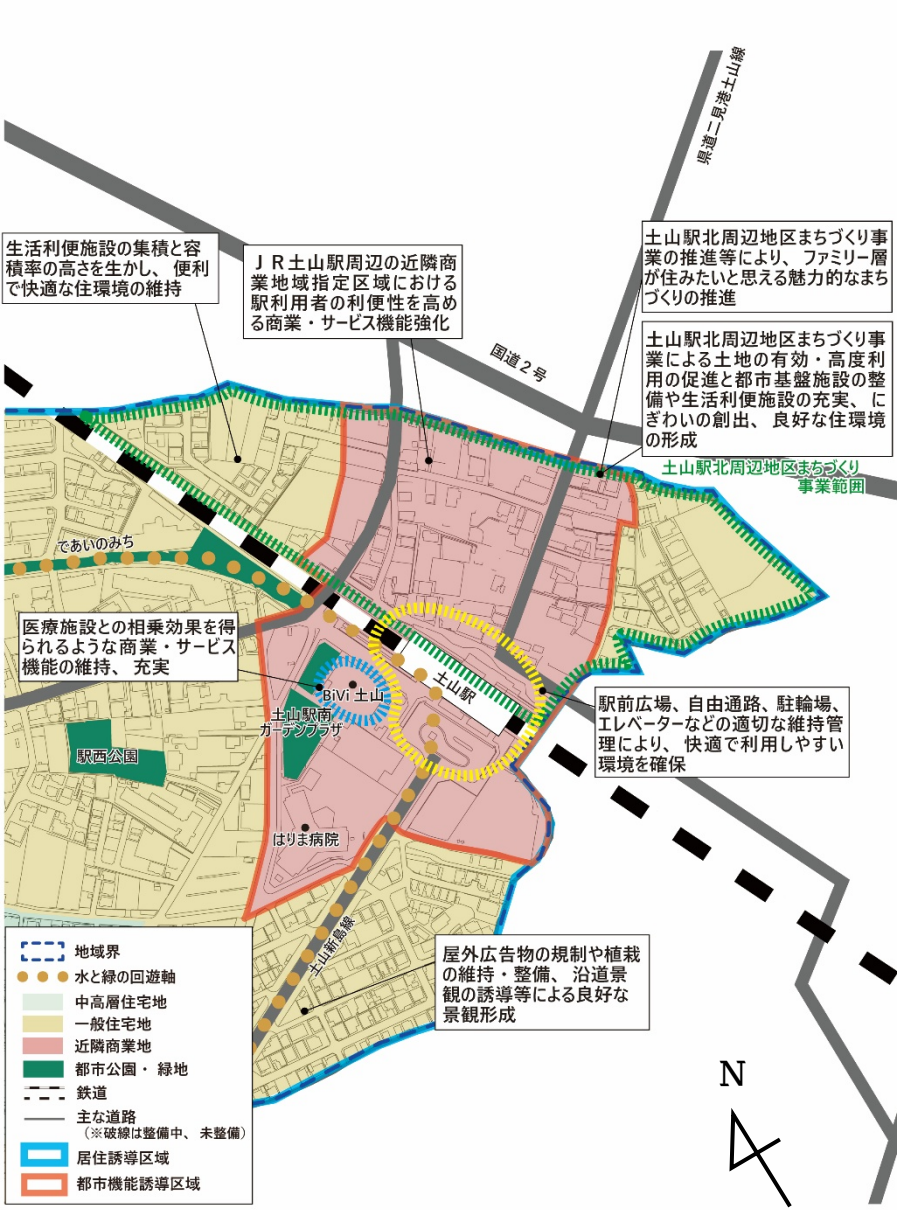
北部地域

北部地域では、JR 土山駅を中心としたにぎわいの拠点があり、その周辺には住宅地が広がっています。駅周辺の利便性を高めながら、良好な住環境を守り、暮らしとにぎわいがバランスよく共存する地域づくりを進めます。

北部地域の地域づくりの方針図



土山駅周辺の拡大版

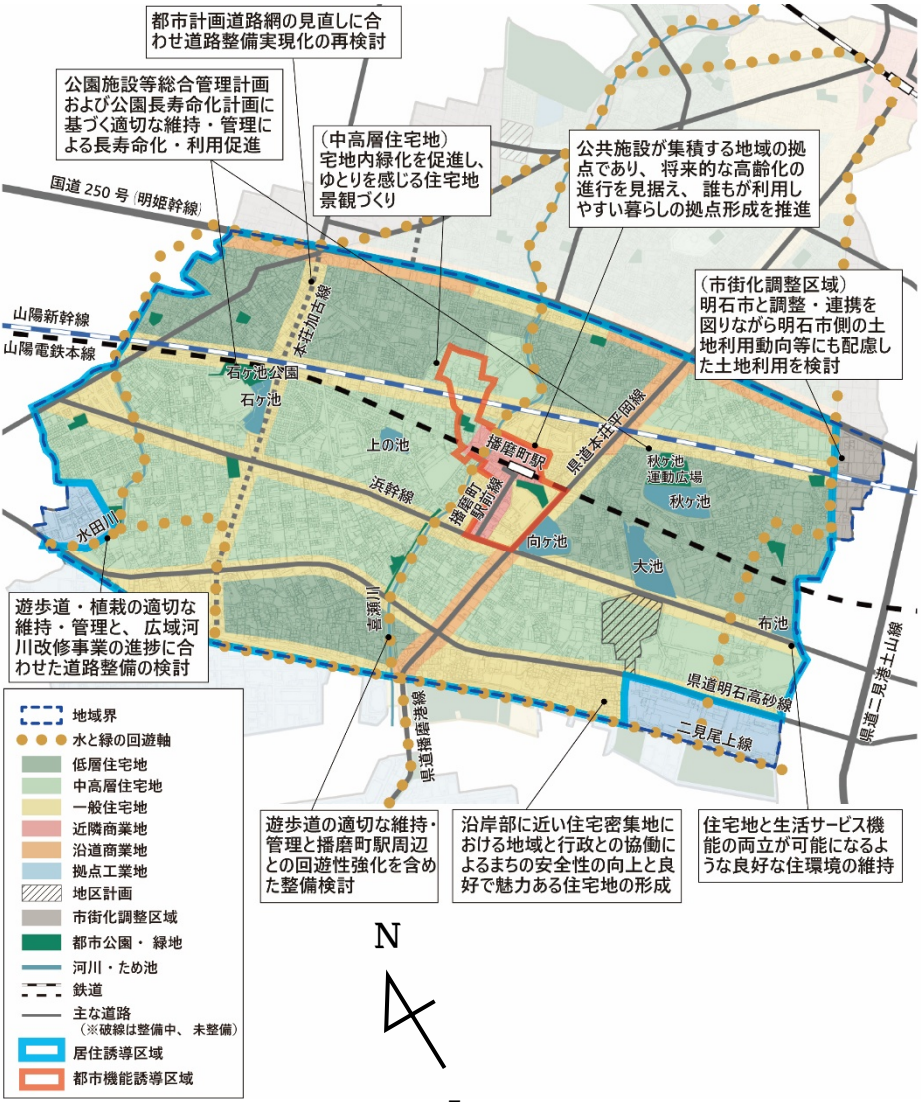


※居住誘導区域：居住を誘導することで人口密度を保ち、暮らしやすさを守るための区域
※都市機能誘導区域：医療や商業等の都市機能を誘導・集約し、効率的なサービス提供を図る区域

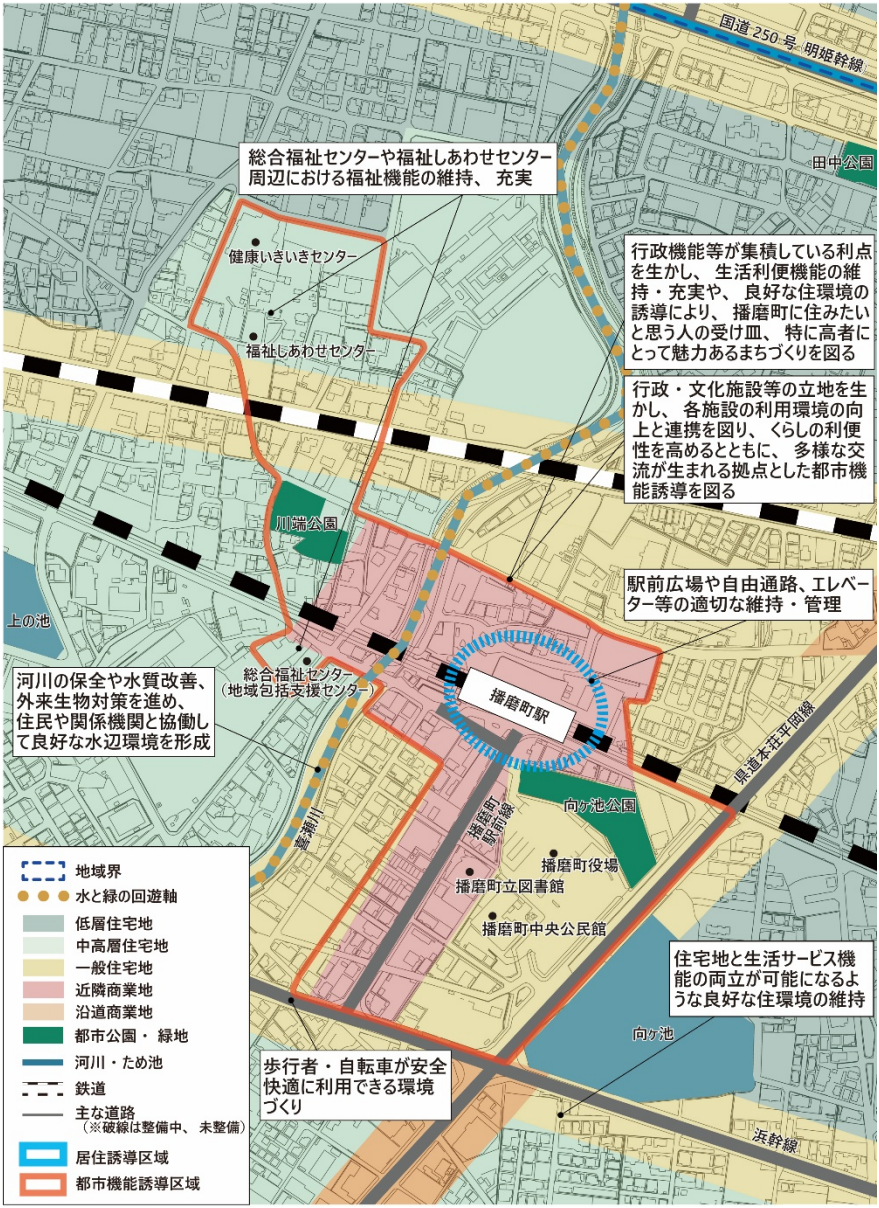
南部地域

南部地域では、播磨町駅の周辺に、行政や福祉、文化など、日常の暮らしを支える施設が集まっています。こうした施設を大切にしながら、歩きやすい環境づくりや空き家の活用を進め、世代を問わず安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていきます。

南部地域の地域づくりの方針図



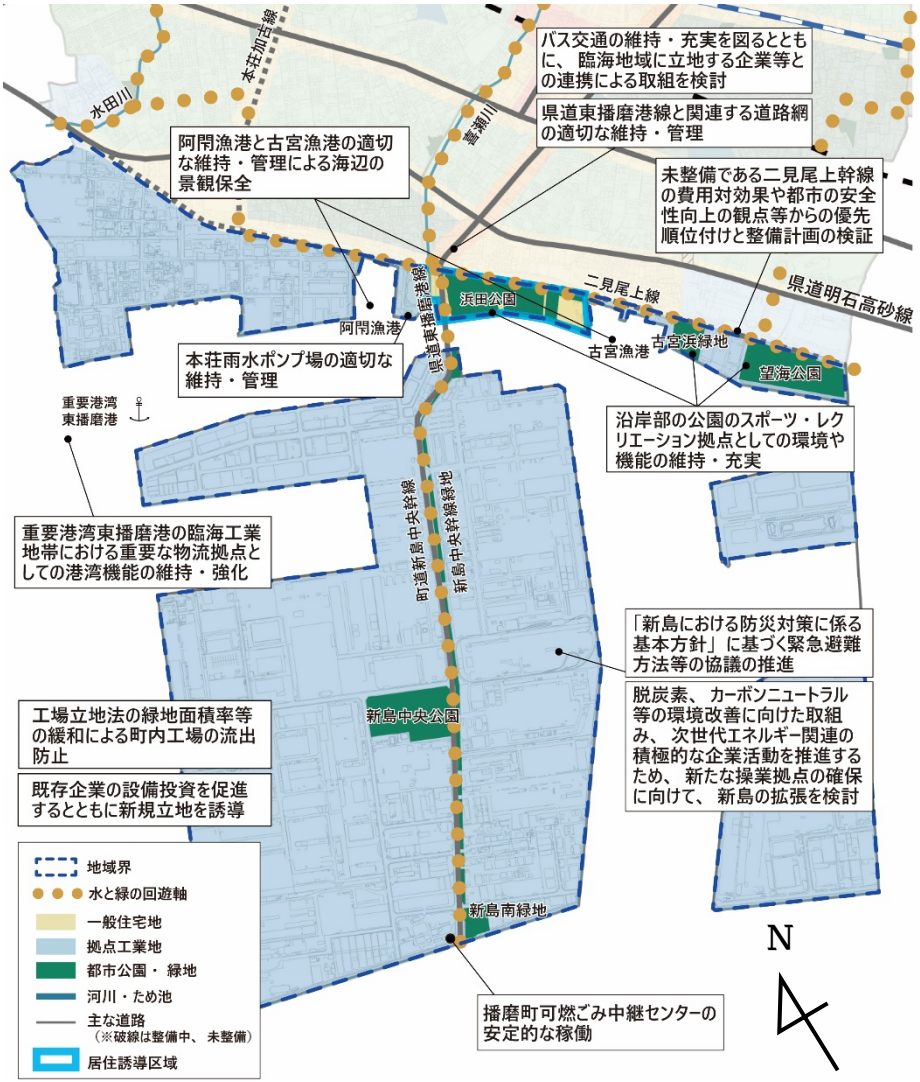
播磨駅周辺の拡大版


国道250号 明姫幹線
田中公園
総合福祉センターや福祉しあわせセンター周辺における福祉機能の維持、充実
健康いきいきセンター
福祉しあわせセンター
行政機能等が集積している利点を生かし、生活利便機能の維持・充実や、良好な住環境の誘導により、播磨町に住みたいと思う人の受け皿、特に高者にとって魅力あるまちづくりを図る
行政・文化施設等の立地を生かし、各施設の利用環境の向上と連携を図り、くらしの利便性を高めるとともに、多様な交流が生まれる拠点とした都市機能誘導を図る
川端公園
駅前広場や自由通路、エレベーター等の適切な維持・管理
上の池
河川の保全や水質改善、外来生物対策を進め、住民や関係機関と協働して良好な水辺環境を形成
総合福祉センター（地域包括支援センター）
播磨町駅
県道本荘平岡線
向ヶ池公園
播磨町役場
播磨町立図書館
播磨町中央公民館
住宅地と生活サービス機能の両立が可能になるような良好な住環境の維持
向ヶ池
歩行者・自転車が安全快適に利用できる環境づくり
浜幹線
地域界
水と緑の回遊軸
低層住宅地
中高層住宅地
一般住宅地
近隣商業地
沿道商業地
都市公園・緑地
河川・ため池
鉄道
主な道路
（※破線は整備中、未整備）
居住誘導区域
都市機能誘導区域
N

臨海地域

臨海地域では、工場や物流施設など、町の雇用や経済を支える施設が集まっています。こうした産業を大切にしながら、周辺環境との調和に配慮した土地の使い方を進めるとともに、災害への備えにも目を向け、防災・減災を重視した地域づくりを進めていきます。

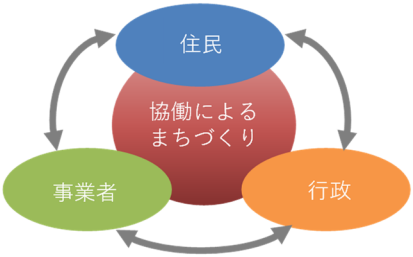
臨海地域の地域づくりの方針図



計画の実現化方策

協働によるまちづくり

住民・事業者・行政がそれぞれの役割を担い、対話を重視した取組を通じて、信頼関係に基づく持続可能な協働のまちづくりを推進します。





～ つなぎ つなげる まちづくり ～

効率的な都市計画行政の推進

関係部署との連携、立地適正化計画を生かした財政基盤の確立と民間活力の積極的な導入、広域的な連携・協力体制を強化します。

都市計画マスタープラン（立地適正化計画）の進行管理

PDCA サイクル(※)が適切に機能する計画とするため、令和 14 年(2032 年)3 月を目標年次として、評価指標と目標値を設定します。

また、計画は概ね 5 年ごとに見直しを予定しています。

※計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)を繰り返し、継続的な改善を行うこと



計画を詳しく
確認されたい方は、こちらへ

これからの播磨町の
まちづくりを覗いてみよう



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん&やよいちゃん



播磨町のPRキャラクター
てんいちさん・たてよこさん

3	×3	で
ち	ょ	う
ど	い	い

令和8年3月発行
発行　播磨町 都市基盤部 都市計画課
TEL：079-435-0355（役場代表）
E-mail：keikaku@town.harima.lg.jp

播磨町都市計画
マスタープランのHP